

人間社会研究科 人間学専攻

正科生

修業年限 : 2年

在籍年限 : 6年(ただし、休学期間を除く)

科目等履修生

受講期間 : 1年

01. 学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)

仏教精神に則り学術の理論及び応用する能力を身につけていること。

現代社会の中で適応困難を来している人たちの心理や行動のメカニズムを理解する能力を身につけていること。

仏教の人間観、死生観に基づいて、社会の様々な課題を解決できる能力を身につけていること。

人間と社会環境に関して幅広く理解できる能力を身につけていること。

人間の精神、思考の根源の上に立って人間関係の新しい構築や修復を図れる能力を身につけていること。

02. 教育課程編成方針(カリキュラム・ポリシー)

人間学専攻の教育課程は、生老病死の根源的問題について考察し、それを受容できる力と共感できる能力を身につける「人間学系科目」の5科目を1年次の必修科目として履修させる。2年次には選択科目として、これらの能力を応用するための「仏教・思想系科目」「心理系科目」「保健・福祉系科目」を重点的に研究させ、さらに必修科目の「特定課題研究演習」によって、「人間性の危機に関する考察」「生と死をめぐる諸問題」「ライフサイクルとアイデンティティをめぐる諸問題」という課題の中から、それぞれの問題意識に基づく研究に取り組ませる。

● 修了要件

40単位以上(必修24単位/選択16単位以上)

2年以上在学し、必修20単位を含む36単位以上修得し、かつ特定課題研究演習(4単位)の成果の審査および試験の合格が必要です。修了時には**修士(人間学)**の学位が授与されます。

● 履修条件

1年次開講5科目(20単位)は全て必修科目です。それぞれの科目について(R、S、SR)の学習方法のうち、開講されているものからいずれかを選択して履修します。年度途中で学習方法を変更することはできません。本専攻では2年次の必修として修士論文にかえて「特定課題研究演習」の成果を提出します。修了には「特定課題研究演習」に合格することが必要です。

● 「特定課題研究演習」の履修条件

1年次開講の必修科目のうち4科目(16単位)以上を修得、並びに履修前年度の指定された日までに研究計画書が提出されていることを条件とします。

03. 2020(令和2)年度 カリキュラム

スタディガイドはWBTの「シラバス」内に掲載しています。

スクーリングを受講する場合は、授業料のほかに「スクーリング申込」と「スクーリング受講料の納入」が必要です。

科目区分	科目名	単位数		授業料	学習方法	スクーリング受講料	備考
		必修	選択				
1年次							
人間学系科目	人間学特講	4		44,000	R	—	
					SR	15,000	
	死生学特講	4		44,000	R	—	
					SR	15,000	
	老年学特講	4		44,000	R	—	
					SR	15,000	
	グリーンケア特講	4		44,000	R	—	
					SR	15,000	
	カウンセリング特講	4		44,000	R	—	
	2年次						
仏教・思想系科目	インド思想特講		4	44,000	R	—	
					S	30,000	
					SR	15,000	
	中国思想特講		4	44,000	S	30,000	2020年度休講
	西洋思想特講		4	44,000	R	—	
					SR	15,000	
	仏教文化特講		4	44,000	R	—	
					SR	15,000	
	比較宗教特論		4	44,000	S	30,000	
	人間倫理特論		4	44,000	S	30,000	
心理系科目	発達心理学特講		4	44,000	R	—	
	認知心理学特講		4	44,000	R	—	
					SR	15,000	
	人格心理学特講		4	44,000	R	—	
					SR	15,000	
	社会心理学特講		4	44,000	R	—	
SR					15,000		
環境心理学特講		4	44,000	R	—		
保健・福祉系科目	メンタルヘルス特論		2	22,000	S	15,000	
	ケースワーク特論		4	44,000	R	—	
	ターミナルケア特論		4	44,000	S	30,000	
					SR	15,000	
特定課題研究演習	特定課題研究演習	4		44,000	—	—	

選択科目：8単位を上限に仏教学専攻の開講科目を選択することができます。